

NPO 法人岡崎がくどうの会

## 第 48 回全国学童保育指導員学校・西日本・愛知会場（20230604）レポート

【クラブ】（ あおぞらクラブ ）

【名 前】（ 寛 由衣 ）

### ① 午後に参加した講座のタイトルをお書きください。

（ 11 ） 講座（No. ）（ 学童保育と性教育 ）

※全体講座のみに参加された方は、全体講座のタイトルをお書きください。No.と選んだ理由は必要ありません。

### ② この講座を選んだ理由をお書きください。

指導員になって5年が経ち、性教育の研修を選んだのは初めてです。

子どもたちの言動に四苦八苦して毎日すごしていた中にも、少しずつ自分の引き出しが増え定着してきたこともあり、新たな分野の勉強を始めてみたいと思い選びました。

### ③ 本日の講座で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

11分科会では、全体会からひきつづき「性」の中には「生物学的な性」と「社会的な性」があることについて学びました。生まれ持った体や性別だけで判断することなく、性差を限りなくゼロにしていくこと、そしてそれを小さいころ（やわらかいスポンジのうち）からそういった声掛けをしていくことの大切さを学びました。ナイーブな内容だからこそ、明日からの保育に活かしていけるのかとヒヤヒヤしていますが、せっかく学ぶことができたので、少しずつ子どもたちに伝えることができたらいいと思います。

11分科会を選んでよかったなと感じた1番の部分は、男女の体の違いやパーソナルスペースを守ること、むやみやたらに人の体を触らないこと、自分の体を知ること、自分の体は自分で守ることなどのお話が聞けたところかなと思います。

学童保育所で働く指導員として、日々、子どもたちから求められる抱っこやおんぶや、膝の上に座るなどの行為に、困るときもあれば、困らないときもある中で、私が困るか困らないかだけで考えてはいけないことに気づかされました。また、子指導員の体をさわったり、子ども同士でさわりあっていたりなどが起こる中で、子どもたちがその行為に対してよかったのか悪かったのかを考えられるように、指導員が徹して伝えていくことと、その話のきりくちを学ぶことができたなと思います。

現場の指導員さんや保護者さんにも聞いてもらえたら嬉しいなと感じた内容の分科会でした。